

第20期(令和4年11月入塾)

募集案内

東京教師養成塾

子供たちの夢をかなえる教師になる！

目指す教師像

- 社会の変化や児童・生徒、保護者の願いを的確に捉え、実践的な指導力や企画力を高める教師
- 幅広い教養を身に付け、総合的な見地から課題解決に当たり、学校教育を創造する教師
- 地域や社会貢献の活動に取り組み、自らの視野を広げ、児童・生徒に夢や感動を与え、将来への展望を切り拓く教師

養成する資質・能力

- 実践的な指導力、柔軟な対応力、組織の一員としての自覚や企画力
- 社会の課題を的確に捉え、様々な知識を融合して実践的に課題を解決する力
- 教師としての使命感、社会に貢献する志、社会人としての責任ある態度

【小学校コース】

社会の変化や児童、保護者の願いを的確に捉えられるよう、豊かな人間性と実践的な指導力を兼ね備え、将来、指導的役割を果たせる教師となれるように、学生の段階から養成します。

【特別支援学校コース】

障害のある児童・生徒の教育的ニーズや障害の重度・重複化や多様化に対応できるよう、豊かな人間性と実践的な指導力を兼ね備え、将来、指導的役割を果たせる教師となれるように、学生の段階から養成します。



◇ 17年間で2,060人を都内公立小学校、都立特別支援学校の教師として輩出しています。※年度：採用年度

17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	計
93	82	98	94	138	146	149	146	145	142	142	144	147	128	105	71	90	2,060



東京都教育委員会

養成塾生の育成に

教師養成指定校

- ◆ 学校や地域の特徴を理解し、授業実践を重ねた即戦力となる人材を確保できる。

● 特別教育実習における指導

- ◇ 毎月の授業研究
- ◇ 学校行事・地域行事を通じた児童・生徒理解と学校への愛着
- ◇ 校内研究・研修への参加による教育課題等への理解
- ◇ 学校組織を意識した管理職等からの講話

「指定校の校長先生の声」
・ 即戦力の獲得につながります。
・ 学校の人材の一員として活躍してくれます。
・ 塾生の学ぶ姿勢が先生方にとってよい刺激になります。



養成塾生指導力を

● 連携強化に向け

- ◇ 塾生の授業実
- ◇ 事業説明会・連絡会における共通理解



第 18 期（令和 2 年 11 月入塾）教師養成指定校

〔公立小学校〕

千代田区立富士見小学校	世田谷区立池之上小学校	足立区立千寿小学校	町田市立小川小学校
港区立港南小学校	世田谷区立船橋小学校	足立区立伊興小学校	町田市立成瀬台小学校
新宿区立戸山小学校	世田谷区立喜多見小学校	葛飾区立道上小学校	町田市立小山ヶ丘小学校
台東区立谷中小学校	渋谷区立笹塚小学校	葛飾区立末広小学校	町田市立小山中央小学校
墨田区立第三吾妻小学校	渋谷区立千駄谷小学校	葛飾区立宝木塚小学校	東村山市立回田小学校
江東区立第二大島小学校	中野区立緑野小学校	葛飾区立東水元小学校	福生市立福生第三小学校
江東区立第五砂町小学校	杉並区立杉並第二小学校	江戸川区立平井東小学校	福生市立福生第六小学校
品川区立城南小学校	北区立王子第二小学校	江戸川区立船堀第二小学校	稲城市立向陽台小学校
品川区立浅間台小学校	北区立滝野川もみじ小学校	八王子市立第二小学校	稲城市立南山小学校
目黒区立鷹番小学校	荒川区立峡田小学校	八王子市立武分方小学校	
目黒区立緑ヶ丘小学校	板橋区立大谷口小学校	武蔵野市立第四小学校	〔都立特別支援学校〕
大田区立大森第一小学校	練馬区立開進第三小学校	青梅市立第五小学校	都立臨海青海特別支援学校
大田区立梅田小学校	練馬区立光が丘四季の香小学校	府中市立府中第三小学校	都立清瀬特別支援学校
大田区立清水窪小学校	練馬区立石神井小学校	昭島市立玉川小学校	都立あきるの学園
大田区立相生小学校	練馬区立大泉北小学校	調布市立杉森小学校	（令和 2 年 11 月時点）

連携大学

- ◆ 理論と実践を往還させることで、学校が求める実践的な指導力を有した教師を養成し、輩出できる。

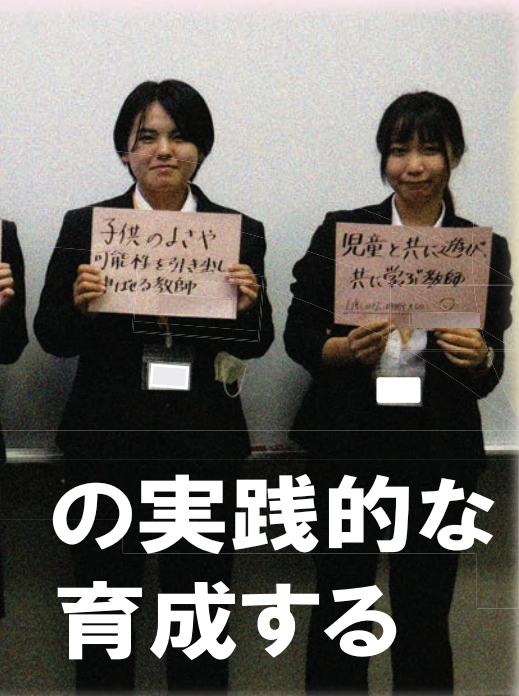
- 入塾希望者の学長推薦
- 特別教育実習等への支援

- ◇ 指定校への訪問指導
- ◇ ゼミ等における指導（指導技術、児童・生徒理解等）
- ◇ 実習状況の把握・指導

令和 3 年度連

浦和大学	十文字学園女子大学
大妻女子大学	淑徳大学
開智国際大学	順天堂大学
鎌倉女子大学	昭和女子大学
関東学院大学	白梅学園大学
共栄大学	白百合女子大学
共立女子大学	聖学院大学
敬愛大学	聖心女子大学
國學院大学	聖徳大学
国士舘大学	創価大学
秀明大学	高千穂大学

向けた連携体制



の実践的な 育成する

た取組

実践への参観・指導
指定校連絡会・関係大学
る育成状況と指導方針の



携大学（43 大学）

玉川大学
都留文科大学
帝京大学
帝京科学大学
帝京平成大学
桐蔭横浜大学
東京学芸大学
東京家政大学
東京家政学院大学
東京純心大学
東京福祉大学

東京未来大学
東洋大学
日本女子大学
日本体育大学
文教大学
文京学院大学
武蔵野大学
明治学院大学
明星大学
目白大学
(50 首順)

区市町村教育委員会 学校経営支援センター

◆ 各地域・学校の特徴を理解し、地域に根差した教育を推進できる初任者を養成できる。

- 教師養成指定校の推薦
- 特別教育実習等への支援

◇ 月 1 回の授業研究における指導主事等の訪問指導・支援



協議会における指導・助言の様子

東京教師養成塾

◆ 学校や地域の特徴、児童・生徒の実態を理解し、授業実践を重ね、即戦力となる人材を学生の段階から養成する。

- 教科等指導力養成講座の実施
- 教授による指定校訪問

◇ 月 1 回の授業研究への指導

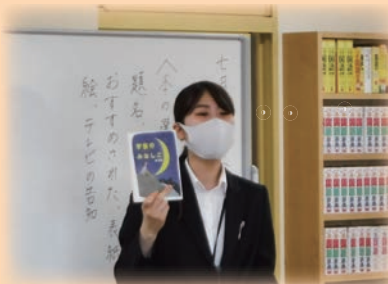
◇ 実習状況の把握・指導

- 教師養成指定校、連携大学、区市町村教育委員会等との連絡・調整
- 養成塾通信等による広報活動

特別教育実習

ねらい

教師養成指定校での年間を通した教育実習により、実践的な指導力や柔軟な対応力を身に付ける。



教師養成指定校における実習内容

- 配置された学級等において、授業参観や授業実践を行い、各教科等の指導方法や学級経営を学ぶ。
- 講話や実務等から、学校の教育課程や組織的な運営について学ぶ。
- 児童・生徒との触れ合いを通して、児童・生徒理解を深めるとともに、生活指導や教育相談について学ぶ。
- 学校の諸活動（給食、清掃、クラブ・委員会活動、学校行事等）について学ぶ。

特別教育実習の目安

- 週1回・年間3回の連続実習
- 年間40日以上の実習
- 年間40時間以上の授業実践



【特別教育実習の様子】

【一日学級担任】

約1年間の特別教育実習のまとめの時期にあたる7～9月は、多くの塾生が一日学級担任を行います。学級担任の立場を経験することにより、見通しをもって指導に臨むことや、学校や学級全体を把握した上で児童・生徒に対応することの大切さを学びます。

【小学校コース 一日学級担任の時程例】

職員打合せ	
8:10～8:45	登校の指導 朝学習・朝の会指導
8:45～12:20	授業実践
	給食指導
休み時間	
13:45～14:30	授業実践
14:30～14:50	帰りの会・下校指導
放課後	採点・指導教員との打合せ

【特別教育実習（1年間）の実施状況】

（第18期生（令和3年度）の平均）

- ・実習日数 44.9日（※15日～20日程度）
- ・授業実践時間 44.0時間（※10時間～15時間程度）
- ・管理職等の講話 14.6回（※1、2回程度）

※（ ）は、教員免許取得のための教育実習において一般的に実施している日数、時間数、回数

成 塾 の 講 座

教科等指導力養成講座

ねらい

教科等の専門性や指導技術の向上及び学級経営における実践的な指導力を身に付ける。

年間 10 日の教科等指導力養成講座では、実践的な指導力の向上をねらいとして、講義・演習及び班協議を通して学びを深めます。

教科等に関する講座



【国語の講座】

- 授業づくりの基礎
国語、社会、算数、理科
生活、体育、道徳科
自立活動、生活単元学習 等
- 指導と評価 等

教科等についての目標や内容の理解を深め、教科等の特性に応じた指導方法について学ぶ。

学級経営に関する講座



【特別活動の講座】

- 特別活動・学級経営
学級集団づくり 等
- 児童・生徒理解
個に応じた生活指導 等

学級経営や児童・生徒理解、保護者対応等について、事例検討等を通して学ぶ。

教師としての使命感や服務に関する講座



【コミュニケーション能力の向上に関する講座】

- 教師の魅力と責任
- コミュニケーション
能力の向上
- 人権感覚の向上

教育公務員としての使命や職責、身に付けなければならない礼節等について学ぶ。

教育課題に関する講座



【特別支援学校の参観】

- 特別支援教育
特別支援学校等の授業参観
- いじめ、不登校の
対応 等

特別支援教育等、教師として押さえておくべき今日的な教育課題について学ぶ。

英語に関する講座

ねらい

外国語活動・外国語の指導の基礎を身に付ける。



【TOKYO GLOBAL GATEWAY での実践演習】

- オンライン上で英会話講座を受講することで、外国語活動・外国語の指導の基礎を身に付けるとともに、自身の英語力を高める。
- 体験活動を通して、コミュニケーションスキルを学ぶ。
TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京都英語村）

確かな指導力は、
実践の積み重ねから！

東京教師養成

東京都教育委員会が求める教員

領域①「教員の在り方に関する領域」

- (1) 教育に対する使命感と豊かな人間性
- (2) 教員として必要な教養
- (3) コミュニケーション能力と対人関係力
- (4) 学校教育に関する法令等と学校教育の役割
- (5) サービスの厳正
- (6) 体罰の根絶

領域②「各教科等における実践的な指導力に関する領域」

- (1) 学習指導要領
- (2) 教材研究・教材解釈と授業づくり
- (3) 単元指導計画の作成及び改善
- (4) 指導方法・指導技術
- (5) 児童・生徒の学習状況の把握と評価
- (6) 授業力向上と授業改善
- (7) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- (8) 情報教育の推進
- (9) 英語教育の充実

形成期

<11 月から 3 月>

児童・生徒と関わり、授業づくりを学ぶ

- 教師の在り方に関する基本的な理解
 - ・ 休み時間等で児童・生徒と触れ合い、児童・生徒理解を深めるとともに、教師として必要なコミュニケーション力を身に付ける。
 - ・ 担任の役割だけでなく、校務分掌等、組織的な仕組みを理解する。
- 各教科等における実践的な指導力の養成
 - ・ 学習指導要領における各教科等の目標や内容等について理解し、指導計画の作成の仕方を理解する。
 - ・ 授業観察を通して、各教科等の指導方法や学習過程に応じた効果的な指導技術（発問、板書、説明等）や学習指導における様々な評価方法について理解する。
- 学級経営に関する理解
 - ・ 学級担任の役割を理解し、学級の規範づくりや教室の環境構成、給食や清掃指導等の進め方について理解する。



伸長期

児童・生徒へ

- 教師の在り方に関する
 - ・ 学級集団を把握し、個々・学校行事等に参加しながら割について理解する。
- 各教科等における実
 - ・ 授業のねらいの達成度、分の授業を振り返り、その特別な支援を必要とする援の方法を理解する。
 - ・ 個別指導計画の作成や個等を理解する。（特別支
- 学級経営に関する理
 - ・ 状況に応じた的確な判して毅然とした態度で義を理解し、適切な褒対応方法を身に付ける。
- 「各教科等の特性に応
- 「いじめ、不登校への
- 「個に応じた生活指導」

特別教育実習

教科等指導力養成講座

- 「授業づくりの基礎（国語、社会、算数 理科、生活、道徳科）」
- 「学級経営」、「児童・生徒理解」
- 「教師の魅力と責任」、「人権感覚の向上」 等

英語に関する講座

- オンライン上で英会話講座を通して、外国語活動・外国語科の指導
- 「TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京都英語村）」において、体験活動を

特別支援学校等の授業参観

- 特別支援学校における授業参観や講話を

塾の1年間の学び

として最小限必要な資質・能力

領域③「教育課題への対応に関する領域」

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| (1) 全ての児童・生徒が学び成長し続けられる教育の実現 | (5) 悩みや課題を抱える児童・生徒に対するサポートの充実 |
| (2) 新しい価値を創造する力を育む教育の推進 | (6) 障害のある児童・生徒の多様なニーズに応える教育の実現 |
| (3) 世界で活躍できる人材の育成 | (7) オリンピック・パラリンピック教育の推進 |
| (4) 社会的自立に必要な力を育む教育の推進 | (8) 児童・生徒の学びを支える教員力・学校力の強化 |

領域④「学級経営に関する領域」

- (1) 学級経営の意義と学級づくり
- (2) 集団及び個に応じた生活指導
- (3) 児童・生徒理解と教育相談
- (4) 保護者・地域との連携

(「東京都教職課程カリキュラム」より)

< 4 月から 6 月 >

の理解力、授業力を高める

る基本的な理解

の児童・生徒への適切な関わり方を理解する。
ら、学校の教育活動におけるそれぞれの教職員の役

践的な指導力の養成

教材・教具の活用、指導方法等の観点から、自
の後の授業実践に生かす。

児童・生徒に対する、様々な場面での適切な支

別指導計画に基づく授業実践、指導方法の工夫
援学校コース)

解

断を行い、教師と
指導することの意
め方や叱り方等の



じた授業づくり」【塾生同士の授業参観】

対応」「特別支援教育」

等

の基礎を身に付け、自身の英語力を高める。
通してコミュニケーションスキルを学ぶ。

通して特別支援教育について学ぶ。

充実期

< 7 月から 9 月 >

4 月から学級担任となる自覚を高める

○ 教師の在り方に関する基本的な理解

- ・ 4 月からの学級担任を意識して、自己の課題を設定しながら実習を行い、教師としての熱意と使命感を高める。
- ・ 諸会議や学年の打合せ、校内研修会や保護者会等に参加し、学校組織の一員としての意識を高める。

○ 各教科等における実践的な指導力の養成

- ・ 学級担任として1日を見通した計画を立て、児童・生徒理解に基づき、柔軟に対応しながら授業を展開する。
- ・ 障害の特性に応じた教材の工夫等を行い、児童・生徒の実態と教科等の内容に対応した授業を展開する。

(特別支援学校コース)

○ 学級経営に関する理解

- ・ 保護者と対面する場面を想定し、適切に対応する方法を身に付ける。



○ 「特別教育実習の振り返り」 ○ 「教師としての自覚」

○ 「保護者対応」 等



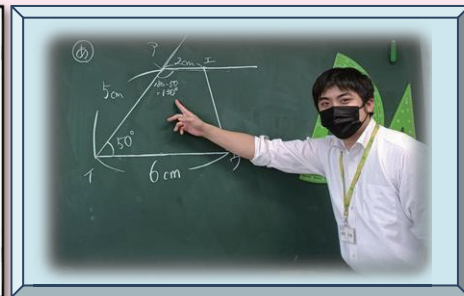
*それぞれの講座で養成する資質・能力のうち、関連する基本的な事項を掲載しています。

修了生の声 ～東京教師養成塾を目指す皆さんへ～

武蔵村山市立第八小学校 椎野 祐史 主幹教諭 【1期生】

東京教師養成塾では、これから教師になるという覚悟と決意を固めることができました。特別教育実習は、楽しいだけでなく大変なこともありましたが、教師という仕事の魅力を実感することができました。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、活動の制約が余儀なくされる中、教務主任としてどのような教育活動ができるのかを考え、教育課程を編成・実施しているところです。教員一人一人が、やりがいをもって仕事ができるように、これからも日々励んでいきます。



都立高島特別支援学校 柳原 望咲 教諭 【13期生】

特別教育実習では、現場の先生方の熱心な指導や子供たちが成長し変わっていく姿を見ることができ、大変貴重な経験になりました。塾生の時も、教師として働き始めてからも、お手本にしたい素晴らしい先生方に出会えたことが、教師として指導力を向上させたいと考える原点になっています。現在は東京教師道場の部員として、子供が主体的・対話的に学ぶ授業づくりを目指し、他校の先生方と共に学んでいます。今後も先生方や子供たちから刺激をもらい、教師として成長できるように学び続けていきます。



東京教師養成塾生の採用の流れ

東京教師養成塾生を対象とした特別選考の受験

修了

修了後から採用までの期間における支援事業の実施

採用

東京教師養成塾修了者採用後の研修について（初任者研修の一部免除）

約1年間の特別教育実習及び教科等指導力養成講座を全て受講することから、教員採用試験の一次試験が免除されます。

※ 特別選考の内容は東京都教育委員会（人事部選考課）のホームページを御確認ください。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/static/kyoinsenko/>



東京教師養成塾修了（9月）後から採用までの期間に、希望者対象の講座等を受講することができます。

- ・ 教師養成指定校における継続した活動
- ・ 修了生の話を聞く会
- ・ 直前講座（年度始めの学級経営等）

東京教師養成塾修了者は、採用後、若手教員育成研修1年次（初任者）研修の一部が、免除されます。

対象者		1年次	東京教師養成塾修了者
研修内容			
校外	センター研修	10回	8回
校内	授業に関する研修	120時間	60時間
	授業以外の研修	60時間	45時間

第20期（令和4年11月入塾）東京教師養成塾入塾者選抜の申込みから入塾まで（予定）

入塾者選抜実施要綱の公表

令和4年3月末

出願書類の提出

令和4年6月中旬

一次選抜（筆記試験）

令和4年7月上旬

二次選抜（個人面接）

令和4年9月上旬

合格発表

令和4年10月上旬

入塾

令和4年11月

第20期入塾者選抜実施要綱は、東京教師養成塾のホームページに掲載します。

出願書類の提出については、大学の担当者にお問い合わせてください。

東京教師養成塾



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

説明会及び公開講座（予定）

◆開催予定日

第1回：令和4年3月12日（土）

第2回：令和4年5月14日（土）

※詳細は、大学及びホームページを通してお知らせします。

◆内容

- 1 東京教師養成塾説明会
- 2 教科等指導力養成講座の見学

東京教師養成塾の実際の講座の内容や養成塾生の協議の様子を見学することができます。



第20期（令和4年11月入塾）東京教師養成塾 募集案内
東京都教職員研修センター印刷物登録 令和3年度第3号 令和3年11月発行
編集・発行
東京都教職員研修センター研修部教育開発課
所在地
〒113-0003
東京都文京区本郷一丁目3番3号
東京都教職員研修センター
電話 03-5802-0318

